

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 28日

事業所名 growのおと上本町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・お子様の人数に対して十分なスペースを確保している。	・引き続き維持してまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○		・お子様の人数に対して十分に配置し、手厚い支援を行っている。	・今後も維持してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・死角がなく、安全面においては確保しやすいメリットがある。反面、極力刺激を減らした環境にしているが、中には気が散りやすいお子様もいる。	・現状を踏まえ、今後一層それぞれの特性に合わせ、より過ごしやすい環境にできるよう検討を重ねてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・日々、安全面と衛生面には留意し、療育に努めている。	・子どもたちの活動に合わせて配置を変えたり等していますが、空間を仕切れるような工夫も今後必要であると考えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・それぞれが問題意識を持ち、課題に対しては改善に努めている。	・個々の意識に差が見られたため、今後は一層の共有を図り、取り組んでまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・前回は昨年9月に実施。結果を受けて必要な改善に取り組んでいる。	・今後も継続してまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・前回の結果をホームページにて好評している。	・今後も継続してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・現在、第三者による外部評価は行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・今年度はフリーオペラント等の内部研修を実施。	・今後も様々な研修を通して研鑽を積んでまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者様と面談にてニーズや課題を伺った上で検討し作成している。	・以後も努めてまいります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントの際には共通のアセスメントシートを使用している。	・内容については引き続きスタッフ間で見直し、検討を続けていきたいと考えます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインに基づいて作成している。	・より具体的に支援に生かせるものとなるよう一層努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・児童発達支援計画に沿った支援に努めている。	・今後も一層努めてまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・見通しを持ちながら計画性をもって職員間で話し合いながら行っている。	・以後も努めてまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・週替わりで色々な活動が経験できるよう職員間で意見を出し合いながら固定化しないようにしている。	・今後もレパトリーを増やしていけるよう必要な道具をそろえたり、今あるものでどういった使い方ができるかなど、職員それぞれでアイデアを出し合っていきたいと考えます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・作成し、支援を行っている。	・以後も引き続き努めてまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・日々昼礼の時間は確保し、支援内容の共有を図っている。	・以後も継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・昼礼の際に共有している。	・以後も継続していくと共に、フィードバックに関しては一層深めていけるよう努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録は毎日行っている。	・今後はそれらを一層意味のあるものにし、活動していけるよう努めてまいります。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的なモニタリングは欠かしていない。	・以後も努めてまいります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	・以後も積極的に参加してまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・相談支援員様も含めて情報共有を図るなどしている。	・以後も継続的に連携を図れるよう努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援として行っていないが、利用児の在籍園とは常に連携を図っている。	・以後も継続し、様々な幼保園と良好な関係を築き、移行支援等にもつながられるよう努めてまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	・現在はまだ行っていない。	・今後対象児が増えるに伴い、必要な連携を図れるよう努めてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・他事業所とも連携し支援にあたっている。	・以後も連携を広げ、よりよい支援につなげられるよう努めてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・こ家族向けのイベントを定期的開催し、きょうだい児さまにもたくさん参加いただいている。	・イベントに関しましては引き続き継続してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・代表、児童発達支援管理責任者が参加している。	・今後も参加を継続してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・保護者様とのコミュニケーションを大切にしております。	・今後も一層努めてまいります。保育園送迎の方に関しましても面談のお声掛け回数を増やすなど、機会を担保できるよう努めたいと考えます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	・主にイベント時等を通してお子様への関わりを共に考えさせていただくようにしているが、ペアレントトレーニングとしては行っていない。	・今後、スタッフも研修会に積極的に参加するなど、実施に向け可能性を検討していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・丁寧な説明を心がけている。	・引き続き努めてまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・保護者様にご理解いただき、同意をいただいております。	・今後も一層丁寧な説明を心がけてまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・お応えできるよう努めている。	・以後も一層お力になれるようスタッフ一同研鑽を積んでまいります。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・イベントにて保護者様同士が繋がる機会も設定している。	・以後も継続し、回数等に関しては引き続き検討を続けてまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・対応に努めている。	・引き続き、お子様はもちろん、少しでも保護者様のお力になれるよう努めます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・定期的に通信を発行している。	・回数や内容等に関しては検討を続け、よりよいものにできるよう引き続き努めてまいります。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の取り扱いには十分に配慮している。	・引き続きお預かりしている個人情報は大切に扱わせていただきます。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個々に応じた対応に努めている。	・以後も努めてまいります。
非常時等の対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・イベントに地域のボランティアグループの方に来ていただくなど、地域とのつながりを図っている。	・引き続きつながりを図ってまいります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルも適宜スタッフで見直し訓練にあっている。	・保護者様への周知は引き続き課題であると考えております。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年間を通して各種避難訓練を実施した。	・引き続き、お子様の大切な命を守るよう訓練を重ねてまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・ご利用前に必ず保護者様に必要事項の聞き取りを行っている。	・引き続き継続してまいります。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・ご利用前に必ず保護者様を通じて確認している。	・引き続き継続してまいります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・共有している。	・引き続き、意識を高めてまいります。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・内部研修を行った。	・以後も継続してまいります。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・研修を行い、スタッフ間で周知すると共に、保護者様に同意をいただいている。	・以後も継続してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。